

ID:

様 入院診療計画書(甲状腺全摘術を受ける患者さんへ)

	入院日 (/)	手術当日(/)		術後1日目	術後2日目	術後3～4日	退院日 (/)
		手術前	手術後				
検 査	(術前検査の結果によっては入院時に再検査や他科受診があります)	手術着に着替えます	手術後は観察室に入ります ○手術が終わったときはウトウトしている状態です	耳鼻科外来で診察があります 血液検査を適宜行います			
処 置		(必要な方は)点滴をします	体温・血圧・脈拍・呼吸の状態を頻回に測定します	○術創には余分な血液や体液を取り除くため、バッグのついたドレーンを留置します	○留置していたドレーンを抜きます ○抜糸します ※ドレーンを抜いた後は少量出血することがあります		
★麻酔科医の診察があります		手術室にいきます	3時間ぐらい酸素投与をします				
薬 注 射	状況に応じ薬剤師がご説明に伺います	朝の内服薬は中止または変更になります 	夜、抗生物質の点滴があります 痛みが強いときや、気分が悪いときなどは看護師にお知らせください	(必要なときには)カルシウムを補充する点滴や、カルシウムの吸収を高める内服を行います		甲状腺ホルモンの内服を開始します	
食 事	21時以降絶食です 24時より水も飲めません 特別な栄養管理()	絶飲食です 	3時間後に水が飲めます 夕～全粥食	朝～常食 ※食事が食べにくいときには、食事の変更ができますのでお知らせください			
清 潔	入浴・洗髪を済ませましょう ☆爪切り(マニキュア除去)をしてください	☆男性は当日の朝までに髭剃りを済ませてください		清拭をします 	ドレーンを抜いたあと胸から下はシャワー可能です	入浴できます	
活 動 休 息	制限ありません 病院内は自由です			自由に歩行できます ○移動の際にはドレーンが引っかからないように注意してください			
排 泄	制限ありません		3時間後にはトイレまで歩行できます	制限ありません			
リハビリ	リハビリが必要な場合は別途「総合実施計画書」を作成し、ご説明の上リハビリを開始します						
総合的な機能評価	65歳以上、又は特定疾病を有する40歳から65歳未満の方は総合的な機能評価を行います						
看護計画	担当看護師が看護の計画についてご説明いたします						
説 明	主治医より手術についての説明があります 看護師より問診と入院生活の説明があります	手術結果について主治医より説明があります			○退院後の生活について 創部のケアを退院後1ヶ月くらい行なってください 手術の傷跡は日焼けしないようにしてください 紫外線が強い季節は日焼け止めを塗ってください 甲状腺ホルモンと、(必要な場合は)ビタミン剤、カルシウム剤は正しく服用してください		
その他	診断書が必要な方は早めに依頼してください			○術後出血の可能性がある時期(ドレーンを抜いて数日経つまで)は、外出・外泊できません			

この予定表は、患者さんの状態に応じて変わることがあります。
何かご質問があれば看護師にお尋ねください。

主治医 _____ 年 月 日
看護師 _____ 年 月 日

管理栄養士 _____
セラピスト _____

患者署名 _____ 年 月 日
代諾者署名 _____ (続柄) 年 月 日

薬剤師 _____